

一般質問通告書 9月議会

令和6年9月11日

| 番号 | 件名 | 氏名 |
|----|------------------------------|-----------|
| 1 | 中間貯蔵施設の一層の理解醸成に向けた取り組みについて | 古 泉 直 紀 |
| 2 | 核燃料サイクルに関する最近の動きについて | 柏 田 真 一 |
| 3 | 中間貯蔵施設の調査検討を受け入れてから1年が経過して | 柏 田 真 一 |
| 4 | 中間貯蔵施設計画はまちづくりの手段として不適當ではないか | 山 戸 孝 |
| 5 | 公共施設などについての現状と方針は | 山 戸 孝 |
| 6 | 中間貯蔵施設に関する住民説明会について | 清 水 康 博 |
| 7 | 町の財政状況を踏まえた自主財源確保は | 海 下 竜 一 郎 |
| 8 | 移住促進のためのイメージ戦略について | 秋 山 鈴 明 |
| 9 | 中間貯蔵施設についての議論の場について | 秋 山 鈴 明 |

6人9件

定例会一般質問通告書

令和6年第3回上関町議会定例会（9月）

| ◆質問者1 古泉 直紀 | |
|----------------------------|---|
| 質問事項 | 質問要旨 |
| 中間貯蔵施設の一層の理解醸成に向けた取り組みについて | <p>中間貯蔵施設の調査・検討について、あらためて「正しく理解する」ことの重要性を認識している。そのためには、現物を見ることが有効かつ近道だと考える。現在、中国電力や町で茨城県の東海第二発電所の乾式貯蔵施設の視察を実施している。</p> <p>以上のことを踏まえ、次の通り質問する。①町が主催した見学会の評価や参加者の所感をお聞きしたい。②現在行っている周知に加え、今年度導入予定の上関町公式LINEを活用した町民への声掛けや開催時期などの工夫についての考えは。</p> |
| ◆質問者2 柏田 真一 | |
| 質問事項 | 質問要旨 |
| 核燃料サイクルに関する最近の動きについて | <p>青森県の六ヶ所再処理工場では、より安全な施設にするため、しゅん工目標の延長が発表された。青森県むつ市の「リサイクル燃料備蓄センター」では、県・市・業者の間で安全協定を締結している。これら、日本国内における核燃料サイクルに関する最近の2つの動きを踏まえ、我が町の中間貯蔵計画に対する考えを聞きたい。</p> |
| 中間貯蔵施設の調査検討を受け入れてから1年が経過して | <p>中間貯蔵施設の調査検討を受け入れて1年が経ち、現在では誤った情報が出回るのも少なくなっている。東海第二発電所の見学に行く町民も多く、正しい情報を得ることで知識も深まっているように感じる。あくまで一般的な中間貯蔵に対する町民の理解度をどのように感じているか。</p> |

| ◆質問者3 山戸 孝 | |
|----------------------------|---|
| 質問事項 | 質問要旨 |
| 中間貯蔵施設はまちづくりの手段として不適當ではないか | <p>中間貯蔵施設計画に対する議論について、これまでの一般質問への答弁や取材へのコメントを通し、あくまで適地かどうかの結果が出てから計画の概要が示された後に議論を尽くすとしている。</p> <p>そこで、以下の通り①中間貯蔵施設そのもの及びプロセスもまちづくりの手法として不適當と考えるが、町長の考えは。②永久貯蔵になる公算が高いとしても、議会の多数が賛成すれば誘致を認めるのか。永久貯蔵にならないと考えるならば、その根拠は。③日本生態学会の自然保護専門委員会が町に要望書を提出し、環境への影響を評価するとともに内容や結果を公開するよう中国電力に助言することを町に求めたが、それにどう対応するか。また、適地であると結果が出て計画の概要が示された場合、町内外からの要請にはどのように対応するのか。</p> |
| 公共施設などについての現状と方針は | <p>上関地区館は解体され、更地になっている。以前、町長からは「地元の意見を聞いて検討したい」旨の発言があったが、その後どのような検討があったか。祝島公民館は施設の安全面や防災の面での現時点の考えは。また、上盛山の花木公園の計画について、現状どうなっているか。</p> |
| ◆質問者4 清水 康博 | |
| 中間貯蔵施設に関する住民説明会について | <p>①今年の3月議会以降、国や事業者との住民説明会の開催時期について検討があったか。②住民説明会が調査受け入れから一年以上経過しても開かれていないのはなぜか。③今後住民説明会を開催する際、事前に広報紙等で中間貯蔵施設を受け入れた場合のメリット・デメリットなどを提示することが必要ではないかと考えるが、町長の考えは。</p> |
| ◆質問者5 海下 竜一郎 | |
| 町の財政状況を踏まえた自主財源確保は | <p>町の自主財源は、近年20%を下回っており、町税も減少傾向にある。今後財政状況が悪化すれば現在行っている住民サービスも低下し、住民の負担増になる。</p> |

| | |
|---------------------|--|
| | 町長の公約でもある持続可能なまちづくりに向けた自主財源の確保に対する考えを聞きたい。 |
| ◆質問者6 秋山 鈴明 | |
| 移住促進のためのイメージ戦略について | <p>私は以前から戦略的に町のイメージ像を作り上げていくことを移住政策の根幹として述べてきた。</p> <p>①この度のワークショップで、移住者として何を求めているのかなどヒアリングできたのか。どのような魅力を感じているのか把握できたのか。②「核施設誘致の可能性はある」ということが移住政策に悪影響を与えかねないという感覚について理解できているか。③「町内で対立が起きている」町に移住したくなるか、町長の考えをうかがう。</p> |
| 中間貯蔵施設についての議論の場について | <p>調査の受け入れの是非によって町内の対立が起きたという認識を町長が持っておられることは理解できる。①結論を出せば町民は納得するとお考えか。②町民を交えた議論の場とは③議論のテーブルに町民がつくとお考えか。④「住民投票は考えていない」理由は。</p> |